

消化器 WG の活動報告

IM-TAG Gastroenterology Working Group

IM-TAG Hepatology and Pancreatobiliary Working Group

1. 組織構成

IM-TAG Gastroenterology Working Group (GI-WG)の Chairman: Dr. Peter Malfertheiner
Professor of Medicine, Department of Gastroenterology Otto-von-Guericke University

IM-TAG Hepatology and Pancreatobiliary Working Group (HPB -WG)の Chirman: Dr. Emmet B
Keefe Division of Gastroenterology and Hepatology Stanford University Medical Center

GI-WG は現在世界の各領域から 11 名、HPB-WG は同じく 10 名のメンバーが決定している。
今後、さらに追加される可能性あり。

2. これまでの活動

- 1) 昨年 11 月 3-5 日にジュネーブでの IM-TAG の第 2 回国際対面会議が開催され、消化器 WG を代表して三浦総一郎、名越澄子が菅野健太郎議長とともに出席し、消化器 WG の活動状況を報告するとともに、iCAT system に関する議論に参加した。
- 2) IM-TAG の GI-WG の Managing Editor として秋山純一（国立国際医療センター）、HPB-WG の Managing Editor として富谷智明（東京大学）が選出された。
- 3) 消化器 WG としては、現在の ICD-10 の消化器部分（おもに K-code）の構造の大幅な改訂を計画しており、「Proposed new GI code plan of current ICD-10 toward ICD-11 alpha-draft version by GI WG & HPB WG」として、WG 内での議論を進めている。
- 4) 消化器 WG として代表的な疾患を選び、iCAMP にて決定したフォーマットに従いコンテンツモデルを作成する作業を行っている。
- 5) 消化器 WG 内のメンバー(chairman, WG member, managing editor)で 12 月にテレカンファレンスを施行した。

3. 今後の活動予定

- 1) 本年4月5日6日に東京の八重洲富士屋ホテルにて第1回の消化器WGの国際合同対面会議を開催予定「Joint Meeting of Gastroenterology (GI) Working Group & Hepatology and Pancreatobiliary (HPB) Working Group of IM-TAG Toward Revision for WHOICD-11」
GI WG および HPB WG のチェアマン、メンバーなど海外より16名が参加予定。
ここで、消化器部門の Revision Proposal について WHO へ提出する最終プランを作成する予定。また、今後のコンテンツモデルの作成についての議論を行う。

- 2) それに引き続き行われる IM-TAG の第3回国際対面会議(4月7-8日、東京国際フォーラム)において両チェアマンより消化器WGの会議の報告が行われる予定。